System Advantages for You

BOM for Windows Ver.8.0
製品機能紹介資料

SR2対応版

2025年4月

セイ・テクノロジーズ株式会社

会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するための
メッセージ「System Advantages for You」を企業ミッションとしております。

会社名	セイ・テクノロジーズ株式会社 (SAY Technologies, Inc.)
本社所在地	〒112-0005 東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階
資本金 / 設立	9,000万円 / 2001年3月
主要役員	代表取締役社長 三瓶 千里
事業内容	サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供 ・自立分散型サーバー監視ソフト「BOM for Windows」の開発・販売 ・高機能ジョブスケジューラー「Job Director」の開発・販売 ・サーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance」の開発・販売 ・その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発

SSD-assistance
Server Specification Document Assistance

Job Director R16

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

Agenda

01 **BOM for Windows とは**

今までのBOMの歩みと4つの特長をご紹介

02 **BOM8.0SR2強化ポイント**

2025年4月リリースのSR2の強化ポイントをご紹介

03 **機能紹介**

4つの機能で構成されるBOMの基本機能をご紹介

04 **オプション製品**

BOMの機能を拡張させるオプションをご紹介

05 **活用例**

他製品との連携や利用シーンにおけるBOMの活用例の一部をご紹介

06 **導入について**

導入目的や予算などにあわせて、2つのライセンス体系から選択可能

01.
BOM for Windowsとは

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

監視ソフトウェア「BOM」の歩み

Back Office Monitor

Ver.1.0

1996年誕生

Ver.2.0

Ver.3.0

Ver.4.0

Ver.5.0

仮想化環境における監視を実現

UIの見直しにより使いやすくミスの少ない操作性を実現

Ver.6.0

監視対象の拡張と連携強化

アプリケーションやデータベース等の監視を強化
他の監視ツールとの連携によりシステム全体を監視可能

Ver.7.0

システムの正常稼働確認を支援

朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」を実装

「何を監視すべきかわからない」を解決

監視テンプレートの自動検出機能を実装

Ver.8.0

限られたリソースで最適なシステム運用サービスを実現

システム運用サービスに必要な“情報”と“知識”を製品化

ＢＯＭの特長

GUIで属人化排除

監視に求められる設定をGUIのみで完結できるため
システム管理者のスキルレベルに依存せず、構築～運用可能。

低コストで学習可能(ハンズオントレーニングは半日)なため、属人化を防止。

最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラと豊富な監視テンプレートをご用意。

テンプレート自動検出機能により「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みを解決。
システム運用の要件定義や設計などの工数を削減可能。

柔軟性と拡張性

監視対象に直接インスールする「自立分散」とインストール不要な
「代理監視(エージェントレス監視)」を予算や要件にあわせて選択。

自立分散はマネージャーサーバーなどが不要なため、監視対象が増えても
サーバーにインストールするだけで運用開始。

純国産 / 国内サポート

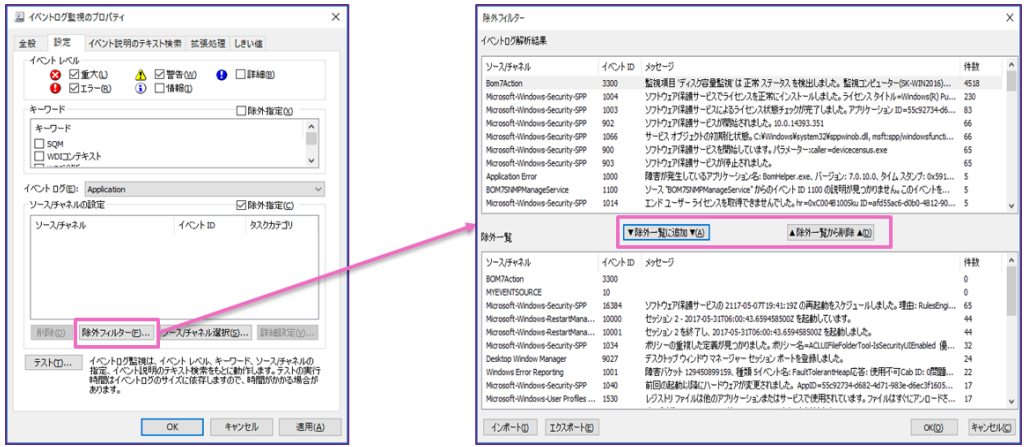
日本国内で開発/サポート。販売開始から20年以上/累計50,000ライセンス以上の実績。

サポートは年間保守不要のインシデント制を採用。
必要な時に必要な分だけ購入するだけのため、保守コストの最適化を実現。

こだわり抜いたGUIで属人化排除

GUIのみで完結でき、システム管理者のスキルレベルに依存しないため、属人化を排除

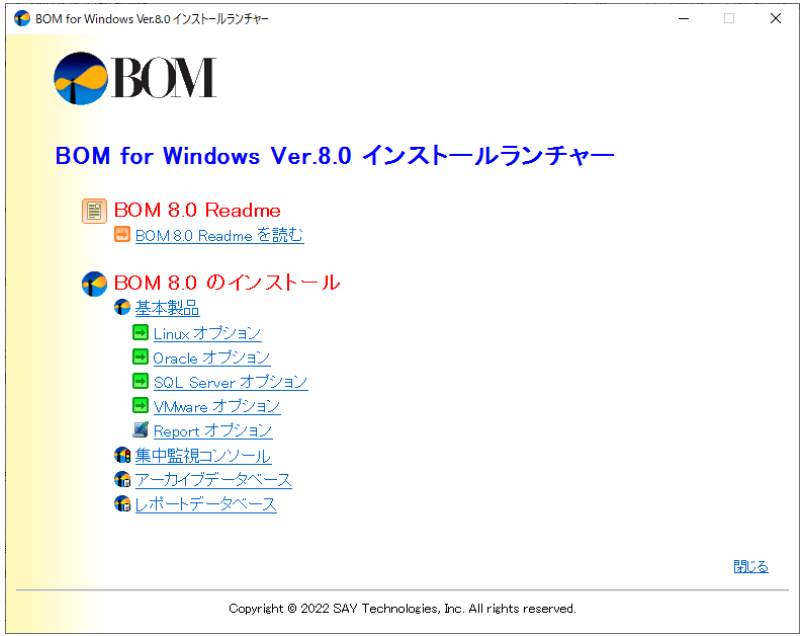
工数のかかるWindowsイベントログの監視についても
一度検知したイベントログは、履歴一覧からGUIで除外可能



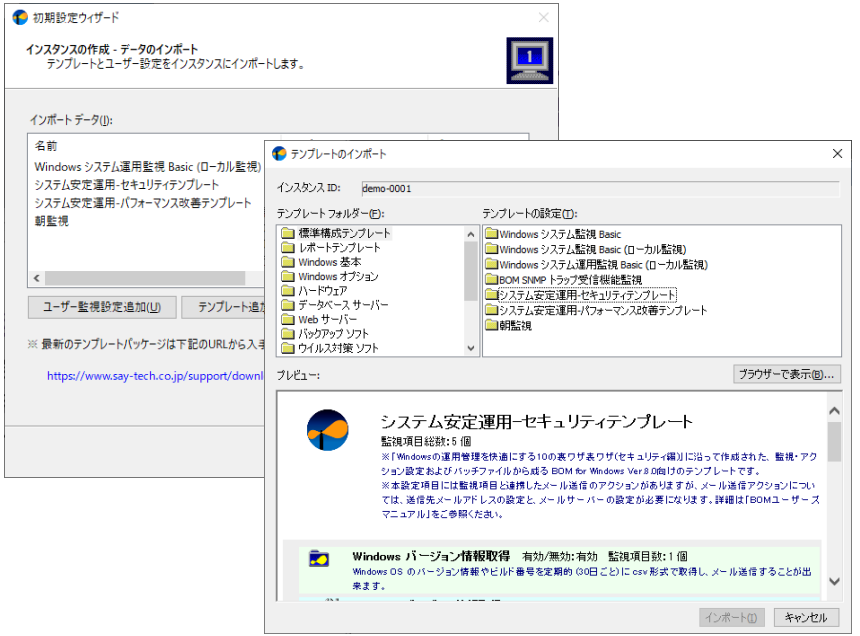
監視結果だけでなく設定画面もGUI設定

クリックのみ！最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラと豊富に用意された監視テンプレートを利用することで最短10分で監視をスタート。



利用したい機能を選択してクリックしていくのみ

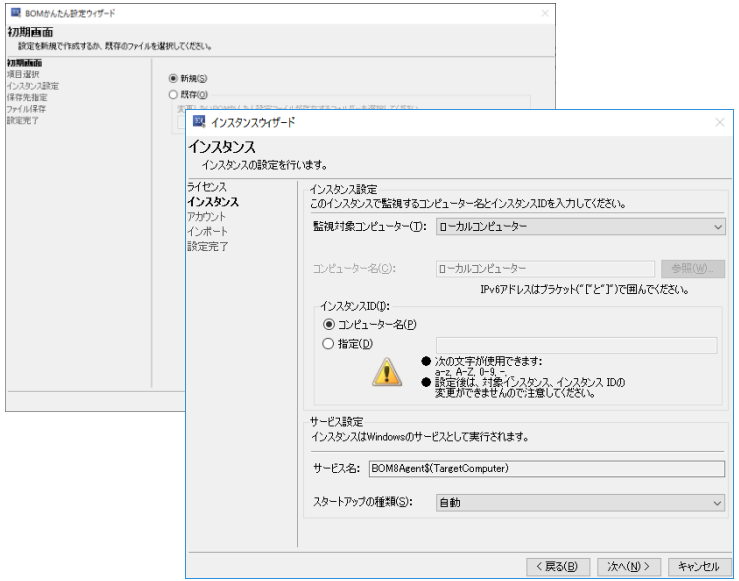


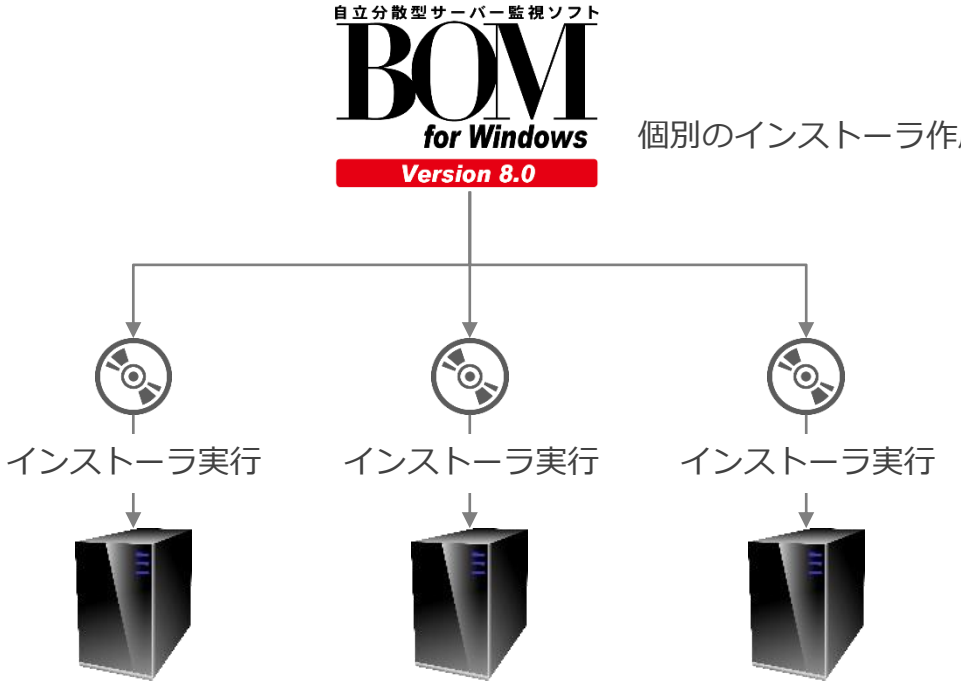
テンプレート自動検出機能により
「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決

専用インストーラで誰でもセットアップ可能

あらかじめ設定したBOMの設定情報ごとインストールできる専用インストーラを作成。対象のサーバー上でインストーラを実行するだけで、インストールから設定、ライセンス認証まで完了。

かんたん設定ツール画面





柔軟性と拡張性 - 自立分散と代理監視

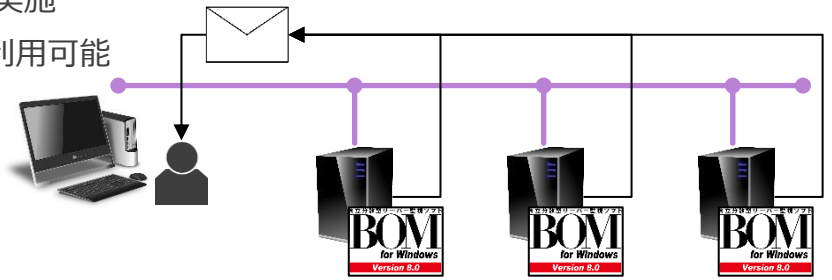
自立分散

監視対象サーバーにBOMを直接導入、自己の体調管理(監視)を実施

監視専用機器、データベースは不要でサーバー1台の監視から利用可能

※分散したBOMの管理画面は、１ヶ所に統合することが可能

-- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 3ライセンス
  合計３ライセンス



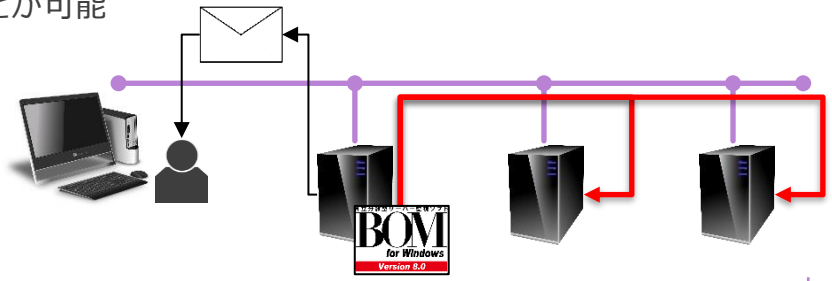
代理監視(エージェントレス監視)

監視対象サーバーにBOMを導入することなく、監視を行うことが可能

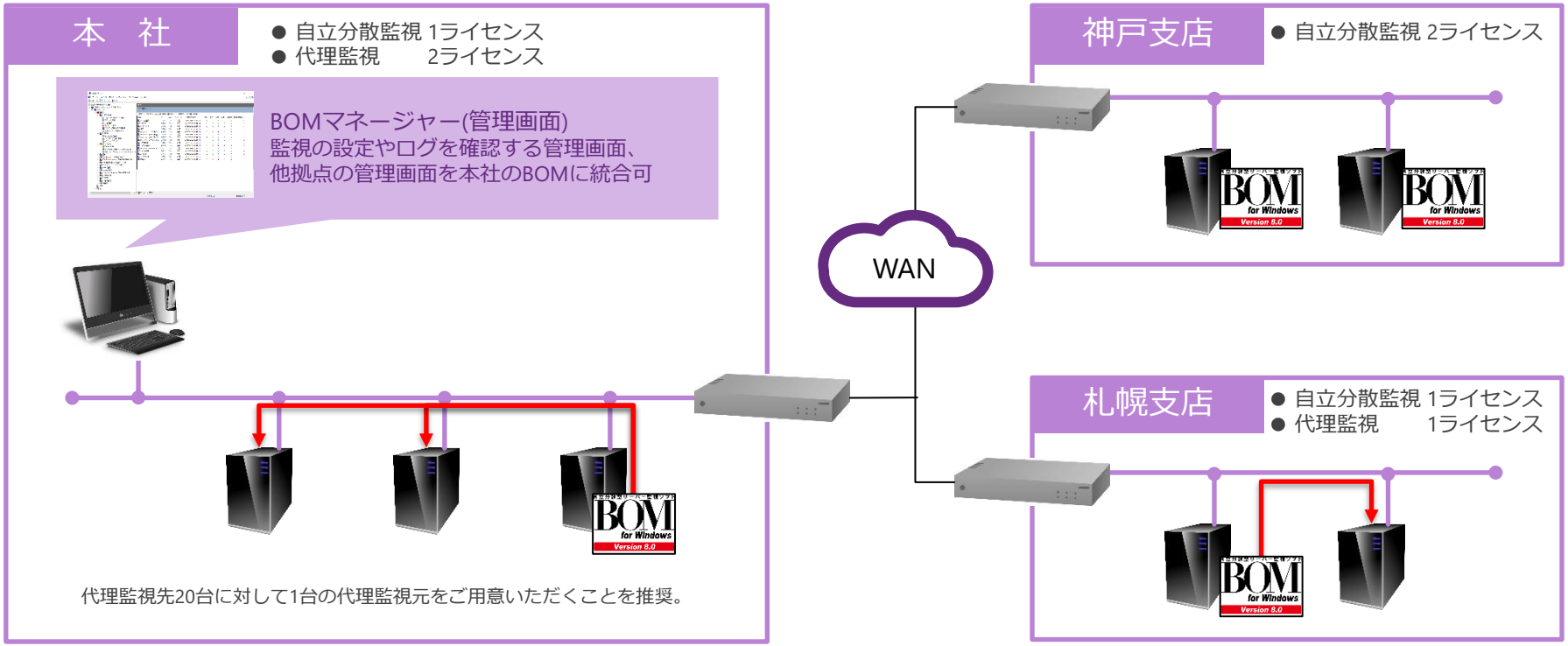
自立分散型と機能に差異はなく、1台 対 N台の監視構成が可能

※BOMの管理画面は監視元サーバーのみに存在

-- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 1ライセンス
- 代理監視　　2ライセンス
  合計3ライセンス

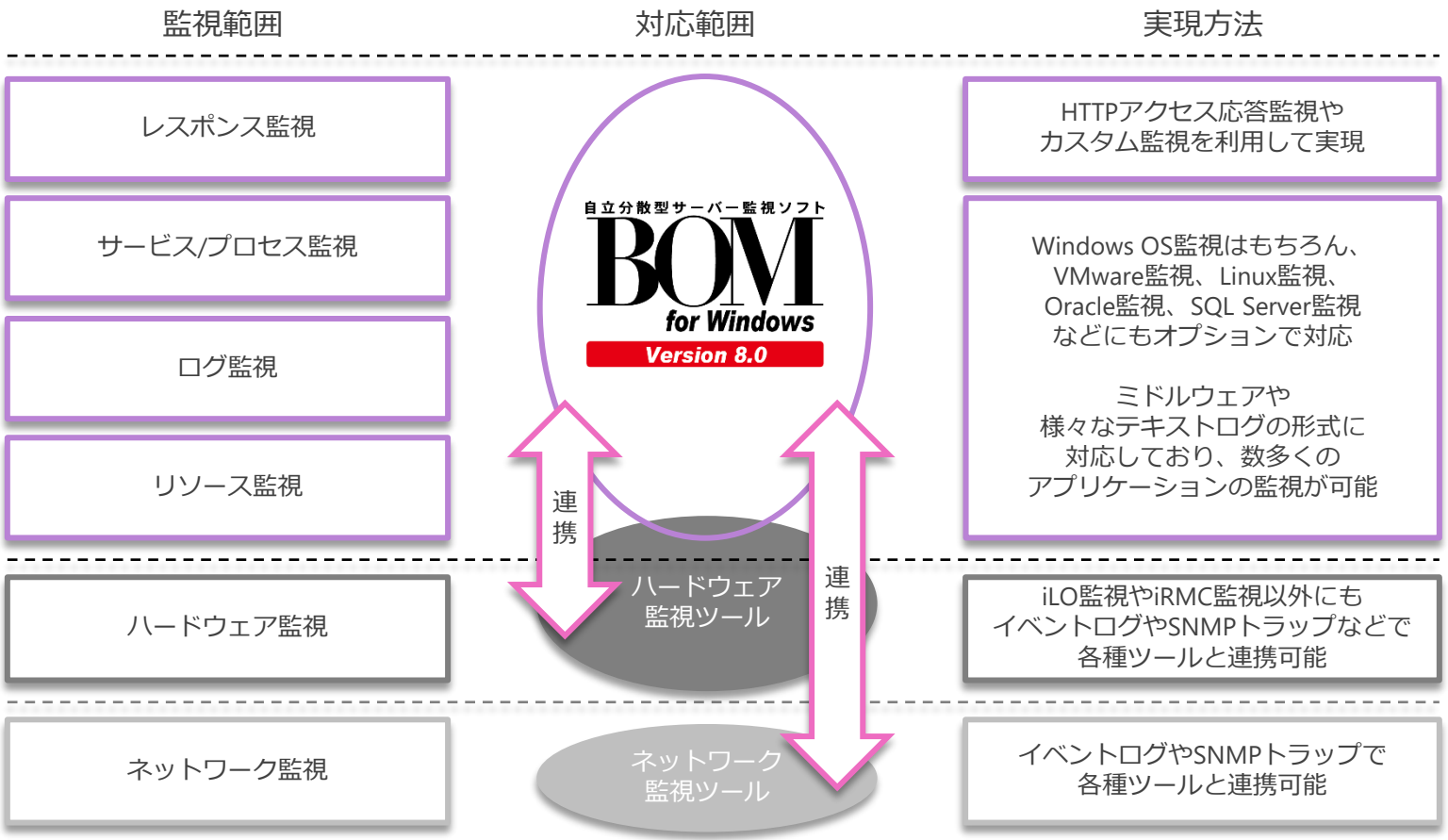


柔軟性と拡張性-ネットワーク構成例



(**黒 線**)　拠点間の通信は、20080番ポート使用。
(**赤 線**)　監視元サーバーと監視先サーバーの通信は、445番ポートと右記のTCP動的を使用。・リモートサービス管理(RPC-EPMAP)・リモートイベントのログ管理(RPC)
※FAQサイト内の「代理監視に関する参考情報」をあわせてご確認ください。

柔軟性と拡張性 - 幅広い監視範囲



02.
BOM8.0SR2強化ポイント

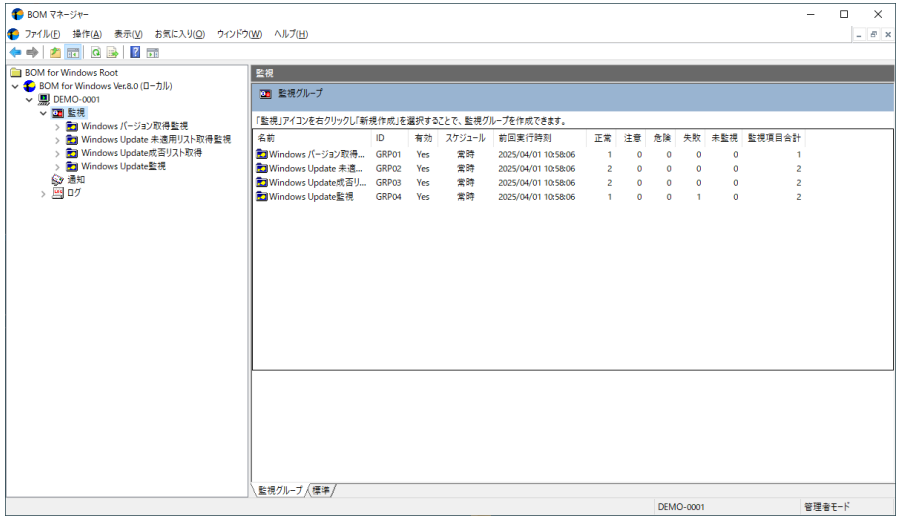
自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

新ＯＳ時代のＷｉｎｄｏｗｓ　Ｕｐｄａｔｅ監視を強化

Microsoft MVP監修！「システム安定運用-セキュリティテンプレート」を強化。
WSUSが非推奨化されたWindows Server 2025時代にあわせた監視にリニューアル。

「システム安定運用-セキュリティテンプレート」の
裏付けとなるホワイトペーパー（2022年刊）

Windows Server 2025時代に
あわせた監視にリニューアル



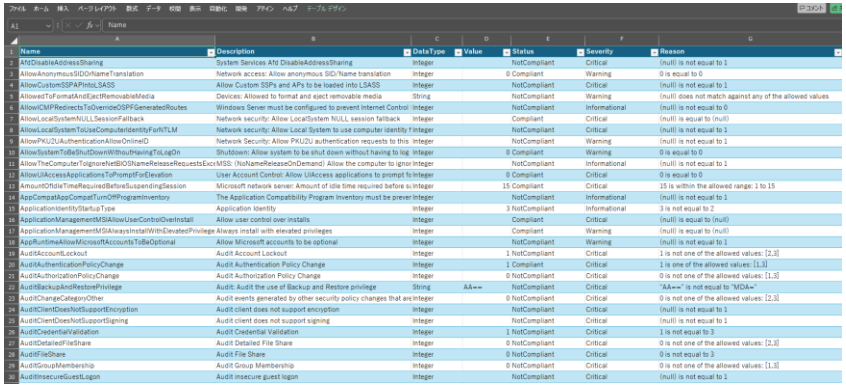
※ WSUS非推奨化については、弊社所属のMicrosoft MVP山内の解説記事をご覧ください。

「OSConfig」連動＆非推奨機能の監視

「Windows Server 2025 監視テンプレート」で安定運用を支援。

■ 「OSConfig」連動
CISベンチマークが推奨するセキュリティ要件を満たしているか監査

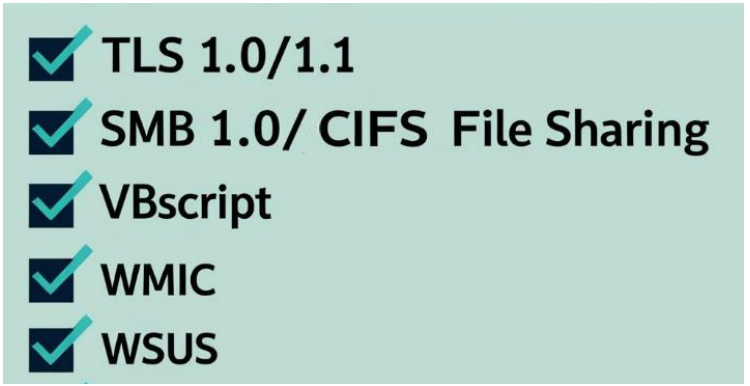
Windows Server 2025の新機能である「OSConfig」に連動。CISベンチマークが推奨するセキュリティ要件をどれだけ満たせているか監査した結果をファイル出力。セキュリティ要件を満たしていない項目のみを抽出するなど可能。



Name	Description	DataType	Value	Status	Severity	Reason
AfdDisableAddressSharing	System Services Afd DisableAddressSharing	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1
AllowAnonymousSIDOrNameTranslation	Network access: Allow anonymous SID/Name translation	Integer		0 Compliant	Warning	0 is equal to 0
AllowCustomSSPAPIntoLSASS	Allow Custom SSPs and APs to be loaded into LSASS	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1
AllowedToFormatAndEjectRemovableMedia	Devices: Allowed to format and eject removable media	String		NotCompliant	Warning	(null) does not match against any of the allowed values
AllowICMPRedirectsToOverrideOSPFGeneratedRoutes	Windows Server must be configured to prevent Internet Control	Integer		NotCompliant	Informational	(null) is not equal to 0
AllowLocalSystemNULLSessionFallback	Network security: Allow LocalSystem NULL session fallback	Integer		Compliant	Critical	(null) is equal to (null)
AllowLocalSystemToUseComputerIdentityForNTLM	Network security: Allow Local System to use computer identity f	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1
AllowPKU2UAuthenticationAllowOnlineID	Network Security: Allow PKU2U authentication requests to this	Integer		NotCompliant	Warning	(null) is not equal to 1
AllowSystemToBeShutDownWithoutHavingToLogOn	Shutdown: Allow system to be shut down without having to log	Integer		0 Compliant	Warning	0 is equal to 0
AllowTheComputerToIgnoreNetBIOSNameReleaseRequestsExce	MSS: (NoNameReleaseOnDemand) Allow the computer to ignor	Integer		NotCompliant	Informational	(null) is not equal to 1
AllowUIAccessApplicationsToPromptForElevation	User Account Control: Allow UIAccess applications to prompt fo	Integer		0 Compliant	Critical	0 is equal to 0
AmountOfIdleTimeRequiredBeforeSuspendingSession	Microsoft network server: Amount of idle time required before su	Integer		15 Compliant	Critical	15 is within the allowed range: 1 to 15
AppCompatAppCompatTurnOffProgramInventory	The Application Compatibility Program Inventory must be prever	Integer		NotCompliant	Informational	(null) is not equal to 1
ApplicationIdentityStartupType	Application Identity	Integer		3 NotCompliant	Informational	3 is not equal to 2
AppInstManagementMSIAllowUserControlOverInstall	Allow user control over installs	Integer		Compliant	Critical	(null) is equal to (null)
ApplicationManagementMSIAlwaysInstallWithElevatedPrivilege	Always install with elevated privileges	Integer		Compliant	Warning	(null) is equal to (null)
AppRuntimeAllowMicrosoftAccountsToBeOptional	Allow Microsoft accounts to be optional	Integer		NotCompliant	Warning	(null) is not equal to 1
AuditAccountLockout	Audit: Account Lockout	Integer		1 NotCompliant	Critical	1 is not one of the allowed values: [2,3]
AuditAuthenticationPolicyChange	Audit Authentication Policy Change	Integer		1 Compliant	Critical	1 is one of the allowed values: [1,3]
AuditAuthorizationPolicyChange	Audit Authorization Policy Change	Integer		0 NotCompliant	Critical	0 is not one of the allowed values: [1,3]
AuditBackupAndRestorePrivilege	Audit: Audit the use of Backup and Restore privilege	String	AA==	NotCompliant	Critical	"AA==" is not equal to "MDA=="
AuditChangeCategoryOther	Audit events generated by other security policy changes that are	Integer		0 NotCompliant	Critical	0 is not one of the allowed values: [2,3]
AuditClientDoesNotSupportEncryption	Audit client does not support encryption	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1
AuditClientDoesNotSupportSigning	Audit client does not support signing	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1
AuditCredentialValidation	Audit Credential Validation	Integer		1 NotCompliant	Critical	1 is not equal to 3
AuditDetailedFileShare	Audit Detailed File Share	Integer		0 NotCompliant	Critical	0 is not one of the allowed values: [2,3]
AuditFileShare	Audit File Share	Integer		0 NotCompliant	Critical	0 is not equal to 3
AuditGroupMembership	Audit Group Membership	Integer		0 NotCompliant	Critical	0 is not one of the allowed values: [1,3]
AuditInsecureGuestLogon	Audit insecure guest logon	Integer		NotCompliant	Critical	(null) is not equal to 1

■ 非推奨機能の監視
非推奨機能が無効化されているか監視、セキュリティリスクを回避

Windows Server 2025から非推奨化された機能が無効になっているか監視。非推奨機能が無効化されているかを監視し、不要な機能の残存によるリスクを抑制。

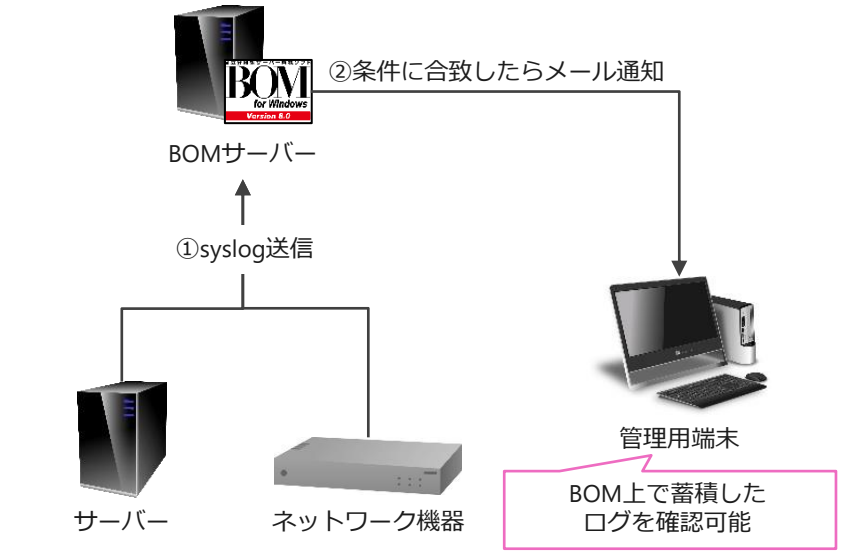


※ 「OSConfig」については、弊社所属のMicrosoft MVP山内の解説記事をご覧ください。

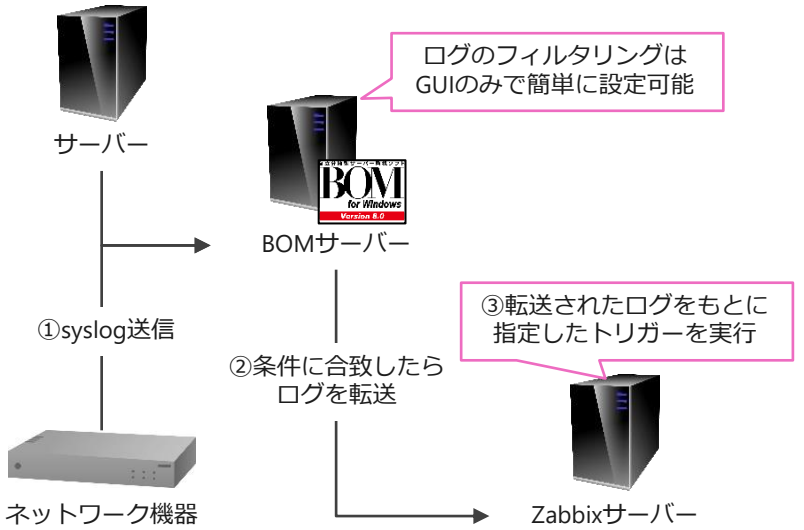
syslogメッセージを監視可能

syslogクライアントから送信されたsyslogメッセージを一元監視可能。

■ ケース1：ログの保存・閲覧
専用のsyslogサーバーが不要なため、構築の手間を軽減



■ ケース2：Zabbixサーバーへのログの転送連携
Zabbixサーバーの負荷やストレージ消費を抑制



※ Zabbixとの連携については[Syslog受信機能ホワイトペーパー]をご確認ください。

BOM8.0SR2強化ポイント一覧

- 新たな環境に対応
    - Windows Server 2025
    - Windows Server IoT 2025
- BOM Syslog受信機能を追加
- 新規及び公開済み監視テンプレートをテンプレートパッケージに同梱
    1. システム安定運用-セキュリティテンプレート
    2. Windows Server 2025 監視テンプレート
    3. Hyper-V インプレースアップグレード後の状態チェックテンプレート
    4. Linux システム監視 Basic テンプレート (UUID による Linux ディスク容量監視項目同梱版)　※公開済み※
    5. UUID を使用した Linux ディスク容量監視テンプレート　※公開済み※

その他の仕様変更・機能改善や脆弱性対応などの詳細はBOM8.0 SR2の概要紹介ページをご確認ください。

03.
機能紹介

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

BOMの機能構成

BOMは多彩な機能のトリガーとなる「監視」を中心に4つの機能で構成されています。

監視

ハードウェアからネットワーク、OS、アプリケーション、レスポンスまで幅広く監視

通知

メール通知はもちろんのこと
SNMPトラップ送信や警告灯の点灯など多彩な通知が可能

リカバリー

サービスコントロールや
シャットダウン等だけでなく
監視の有効/無効も制御

アーカイブ

監視結果だけでなく
BOMが実行した通知やリカバリーのログも蓄積可能

監視 - 主な監視機能

リソース監視：9種類	
ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
フォルダー・ファイル監視	フォルダーやファイルの容量や数量を監視
プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
メモリ監視	メモリの空き容量を監視
ディスク処理待ち行列長監視	全物理ディスクに対する負荷状況を監視
ネットワークインターフェイス監視	物理ネットワークインターフェイスの帯域使用率を監視
ネットワークアダプター監視	チーミングNICを含む、ネットワークアダプターの帯域使用率を監視
プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視

リモート監視：2種類	
Ping監視	Ping(ICMP ECHO)疎通監視
ポート監視	TCP/UDPポート疎通監視

稼働監視：2種類	
サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
プロセスリスト監視	プロセス一覧を取得し、稼働状況を監視

ログ監視：3種類	
イベントログ監視	イベントログを監視(除外指定/選択指定が可)
テキストログ監視	任意のテキストログファイルを監視視
BOMヒストリー監視	BOMのヒストリーログを監視

その他監視：14種類	
インストールソフトウェア変更監視	Windows Update監視
AWS S3ストレージ容量監視	iLOログ監視
iRMCログ監視	HTTPアクセス応答監視
SNMP Get 監視	重複ファイル監視
未アクセスファイル監視	カスタム監視
RDSセッション監視 (セッション数取得)	RDSプロセス監視 (セッション数取得)
RDSセッション監視 (ユーザー/クライアントリスト取得)	RDSプロセス監視 (ユーザー/クライアント/セッションリスト取得)

その他にもOracle Database / SQL Serverといったデーターベースや VMware / Hyper-Vといったハイパーバイザー、 Linux OSの監視も可能。(一部オプション製品)

監視 - 監視テンプレート

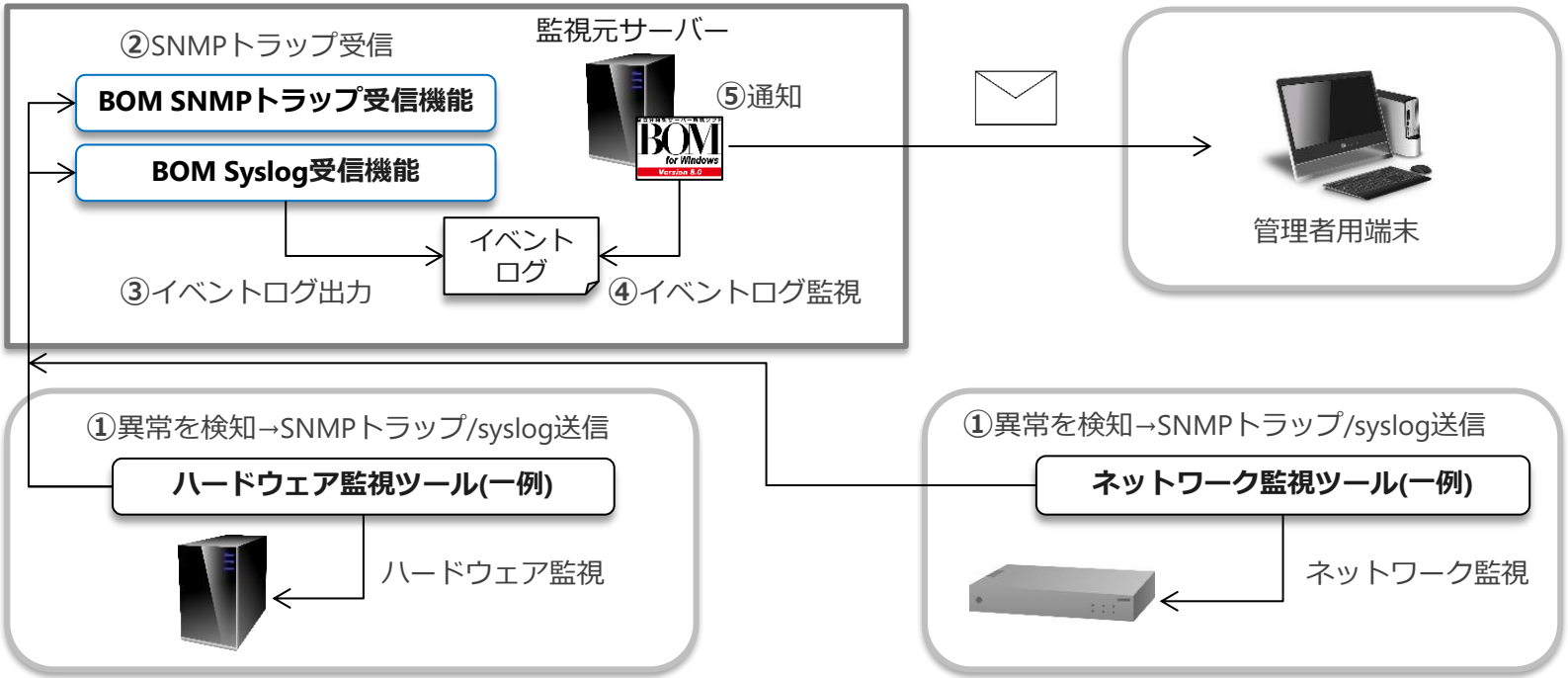
「監視テンプレート」 を無償公開。
テンプレート自動検出機能により「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決。

監視テンプレート (抜粋)			
標準	Windows システム運用監視 Windows システム監視 Linux システム監視	システム安定運用 - セキュリティテンプレート システム安定運用 - パフォーマンス改善テンプレート 朝監視	
ログ	アプリケーションイベントログ システムイベントログ	Windows レポート向け監視項目 Linux レポート向け監視項目	セキュリティログ Linux テキストログ監視
ソフトウェア	ActiveImage Protector Arcserve Backup Exec Veritas System Recovery Windows Server Backup	Active Directory DNS Server DHCP Server MSFC Windows Server SQL Server	ESET Trend Micro Windows Defender Linux Apache Linux Samba
ハードウェア	NEC ESMPRO ServerManager NEC ESMPRO ServerAgent	JP1 Server Conductor Fujitsu ServerView Agents	HP System Management

監視テンプレートは随時追加しています。最新情報はテンプレート一覧をご確認ください。

監視-SNMPトラップ/syslog受信機能

ネットワーク機器やハードウェアの管理コントローラーなどから送信されるSNMPトラップ(v1/v2c/v3)やsyslogをBOMで監視可能。



通知/リカバリー

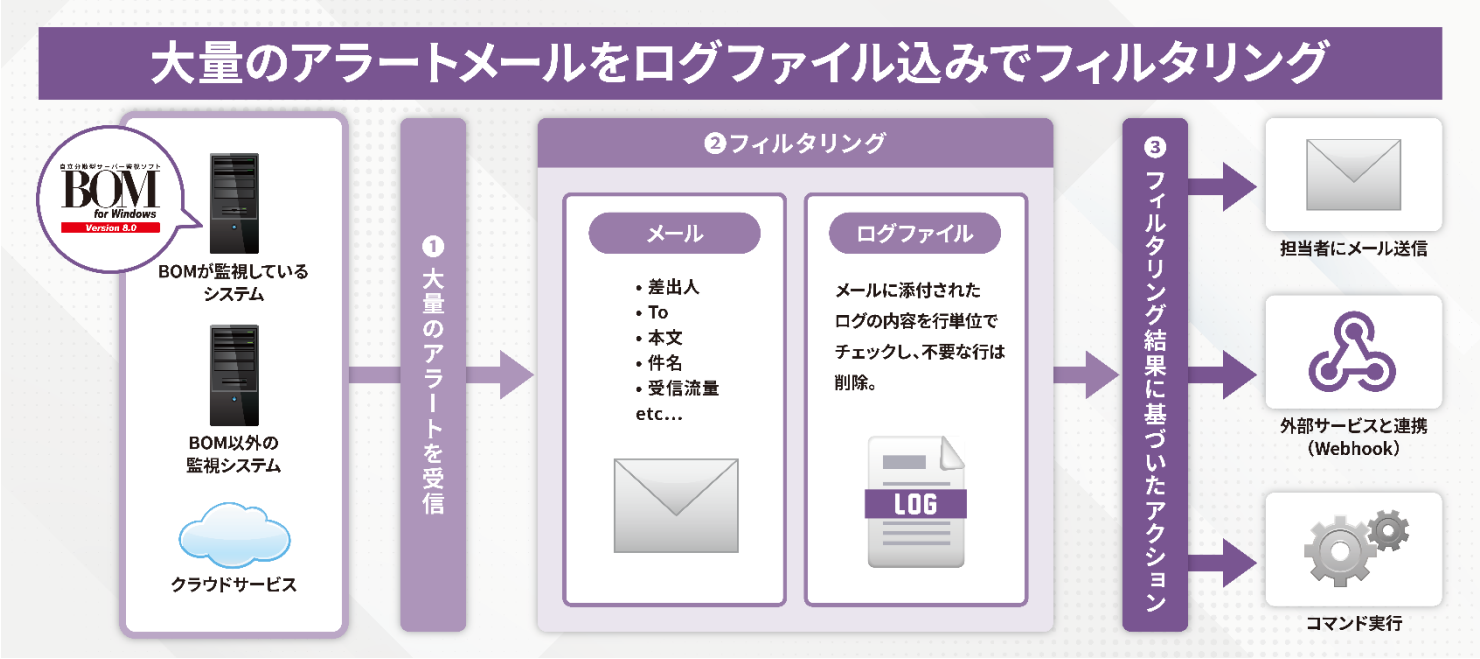
主要な通知項目	
メール送信	SMTP形式のメール通知
SNMPトラップ送信	SNMP(v1/v2c/v3)形式のトラップ送信による通知
イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知
syslog送信	syslogサーバーへsyslog形式のメッセージを送信
カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知 *パトライト等の警告灯の点灯が可能

主要なリカバリー項目	
サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化制御
HTTPS送信	HTTPSプロトコルを使用したファイル/通知の送信
AWS S3ファイル送信	Amazon S3および、Amazon S3互換ストレージへ、任意のファイルを送信
RDSクライアント通知	接続中のクライアントに対して、通知メッセージを送信
RDSセッションログオフ	指定した条件に該当するステータスのセッションを強制的にログオフ
カスタムアクション	外部アプリケーションを利用した制御

その他にもVMwareホスト/ゲストのステータス制御、Linux上でのスクリプト実行/プロセスコントロールなどが可能。(一部オプション製品)

通知/リカバリー：アラートフィルター

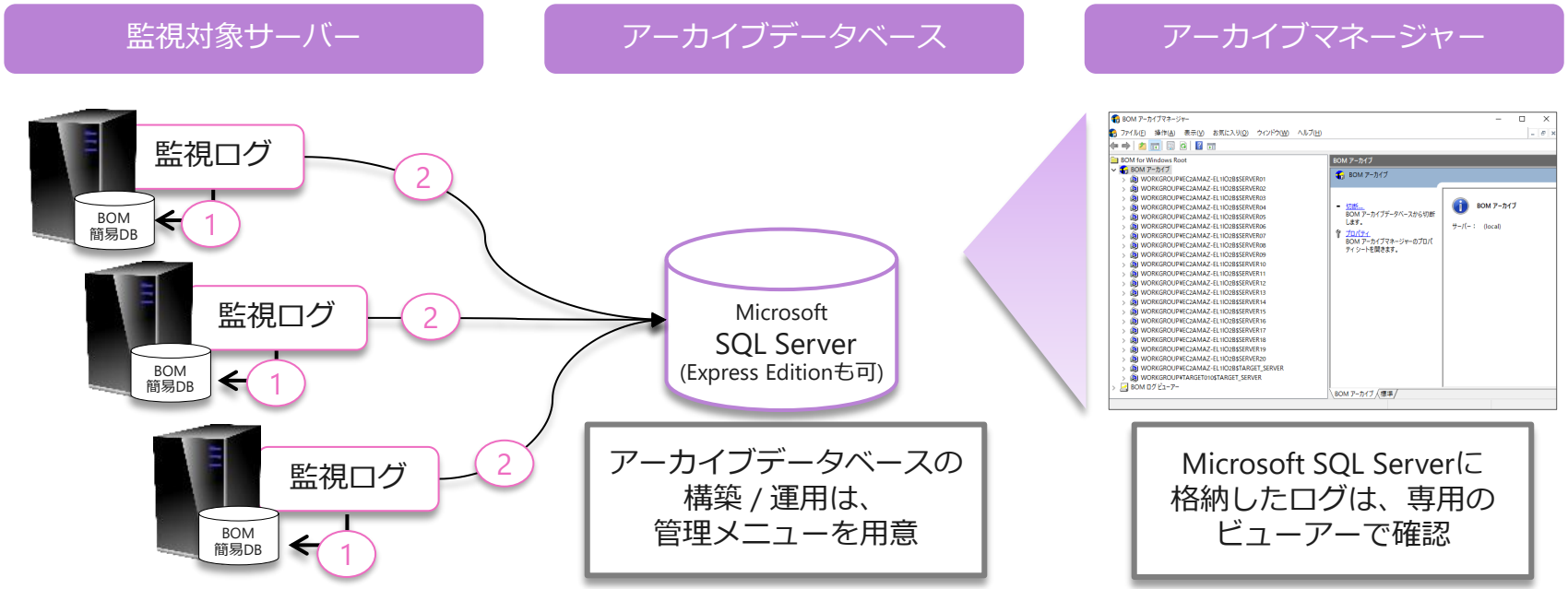
BOMなどの監視ツールからの大量のアラートをログファイル込みでフィルタリング可能。



※ アラートフィルターのご利用には別途、利用登録が必要です。

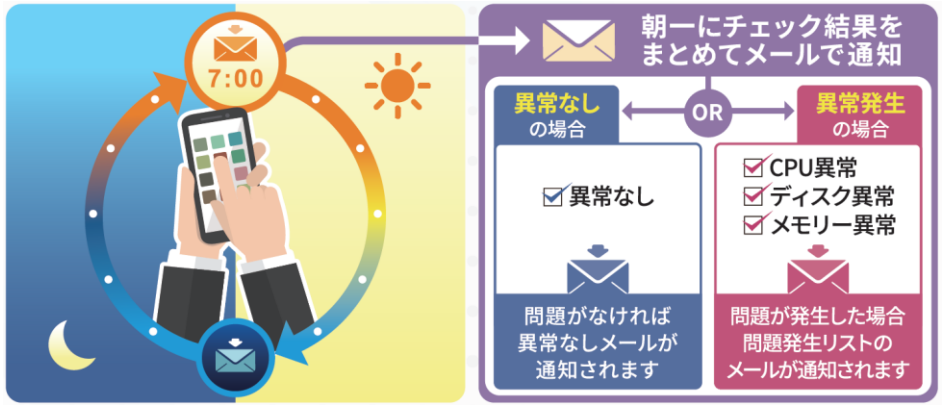
アーカイブ-ログの蓄積

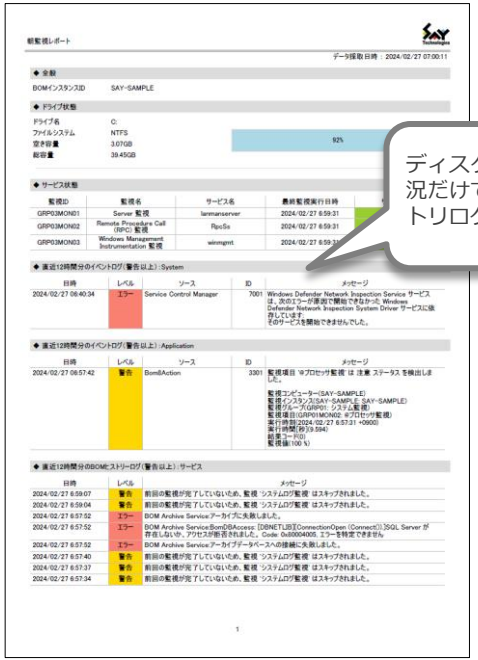
監視項目ごとに15,000レコードまで監視ログをBOMに蓄積可能。
長期保存が必要な場合、Microsoft SQL Serverにアーカイブ可能。



アーカイブ：朝監視レポート

朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」を強化。従来のメール通知に加えて、「朝監視結果レポート」を作成。



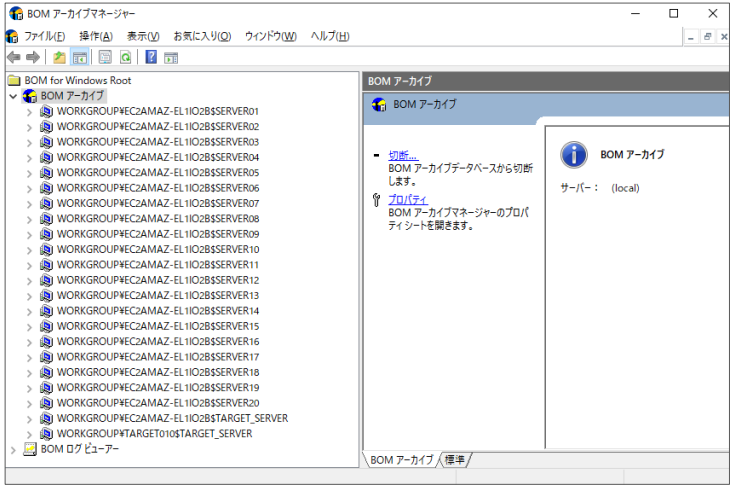


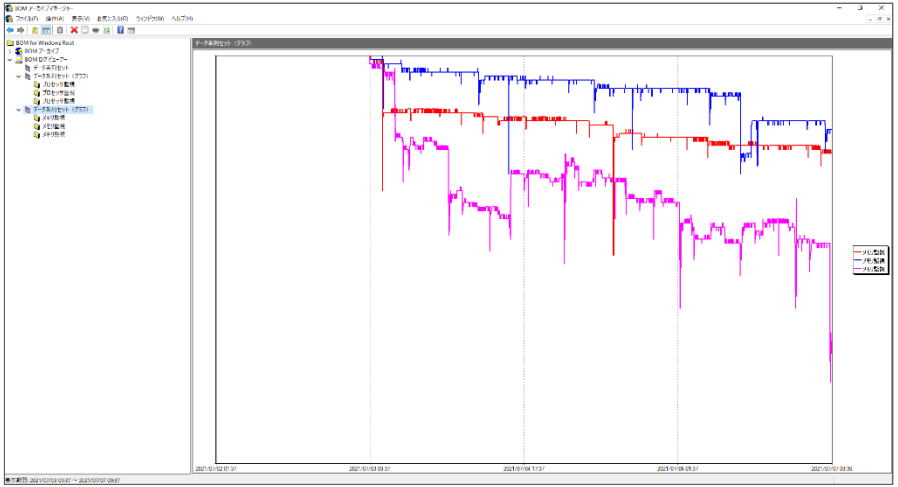
ディスクの使用状況やサービスの稼働状況だけでなく、イベントログやBOMヒストリログをレポート化。

アーカイブ-アーカイブマネージャー

BOM アーカイブマネージャーでは、アーカイブデータベースに蓄積された監視データログを監視項目ごとにリストで表示することや複数の監視項目のデータグラフを重ね合わせて表示可能。

無償版SQL Server Express Edition との組み合わせで監視データを簡単グラフ化





利用可能なデータベースの動作要件は[アーカイブデータベース動作要件]をご確認ください。

アーカイブ-レポート出力（オプション製品）

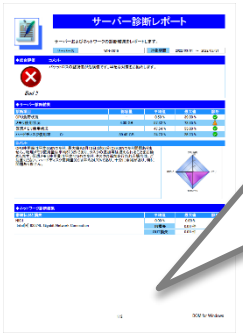
集計・自動分析するレポート出力。保守報告書としての活用可能。
Windowsだけではなく、LinuxやVMwareのレポートシートもご用意。

レポートは21種類レポートシートの中から選択して出力可能

レポートシート一覧		
サーバー診断レポート	プロセス詳細情報	全インスタンス概要
過去比較情報	ディスククォータ情報	ArcserveUDPv6ログリスト
詳細グラフ情報	アプリケーションログ情報	Hyper-V仮想環境レポート
システム基本情報	システムログ情報	VMwareサーバー診断レポート
ハードウェア情報	セキュリティログ情報	VMwareシステム基本情報
ソフトウェア情報	セキュリティログ詳細	VMware詳細グラフ情報
ハードウェア・ソフトウェア差分情報	テキストログ情報	VMwareログ情報

アーカイブ-レポートサンプル（オプション製品）

サーバー診断レポート



【自動分析のコメント例】

CPU使用率は平均84.87%であり、
最大値も8月9日9時31分に99.00%です。
早急な上位機種へアップグレードをお勧めします。

ディスク使用量(C:)は平均3.21%であり、
十分に余裕があり、特に問題ありません。

過去比較情報

【過去比較情報】

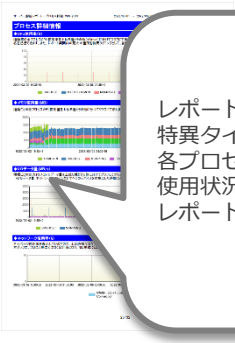
- サーバー診断結果
  CPU負荷、メモリ状況、仮想メモリ状況、
  HDD状況、HDD使用率
- ネットワーク診断結果(NICごと)
  IN使用率、OUT使用率
  IN損失件数、OUT損失件数

ソフトウェア情報

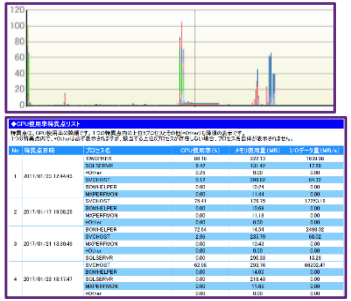
監視対象サーバーのソフトウェアの「追加」・「削除」状況がピックアップされますので、許可されていないアプリケーションのインストール監査や、OSのパッチ適用状況などを把握することができます。

78	プラグ アンド プレイ デバイス	Volume Manager	
79	プラグ アンド プレイ デバイス	WebEx Document Loader (リダイレクト 2) (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
80	プラグ アンド プレイ デバイス	ボリューム	PVDISK	追加

プロセス詳細情報



レポート出力期間の
特異タイミングを検出、
各プロセスのリソース
使用状況を抽出して
レポートに出力します。



04.
オプション製品

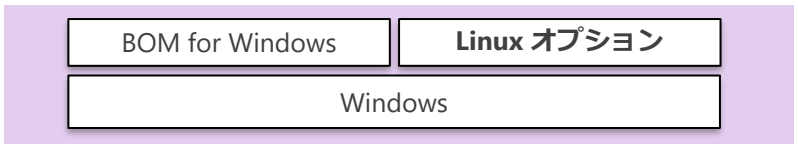
自立分散型サーバー監視ソフト
BOM
for Windows
Version 8.0

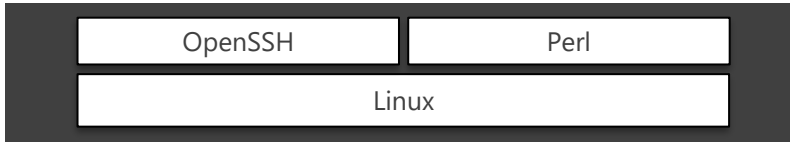
オプション製品の機能概要

Linux	追加される機能	監視	① ディスク容量監視　② ディレクトリ・ファイル監視　③ サービスポート監視 ④ プロセッサ監視　⑤ メモリ監視　⑥ ディスクアクセス監視　⑦ プロセス監視 ⑧ プロセス数監視　⑨ テキストログ監視　⑩ネットワークインターフェイス監視 ⑪ スクリプト監視
		通知・リカバリー	① SYSLOG書き込み　② プロセスコントロール　③ シャットダウン　④ スクリプト実行
Oracle	追加される機能	監視	① 表領域の使用量・使用率監視　② 同時セッション数監視 ③ 表領域の最大空き容量監視　④ エクステント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
SQL Server	追加される機能	監視	① データベースの使用量・使用率監視　② 同時セッション数監視 ③ データベースの最大空き容量監視　④ エクステント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
VMware	追加される機能	監視	① ストレージ空き容量監視　② パフォーマンスカウンター監視　③ ステータス監視 ④ 仮想マシン数監視 ⑤ VMwareイベント監視　⑥ VMwareタスク監視 ⑦ VMwareビューアデータ収集
		リカバリー	① VMwareステータスコントロール (ホスト/ゲスト)
Report	追加される機能	レポート	① サーバー診断レポートや過去比較情報等21種類から選べるレポート出力

構成例 - Linuxオプション

Windowsサーバーに導入したBOMから、SSH経由でLinuxサーバーを監視
WindowsサーバーのBOMからGUIを利用して操作を行うため、Linuxは意識不要





SSH接続

WindowsマシンにBOM for Windowsを
導入後、Linuxオプションを追加導入

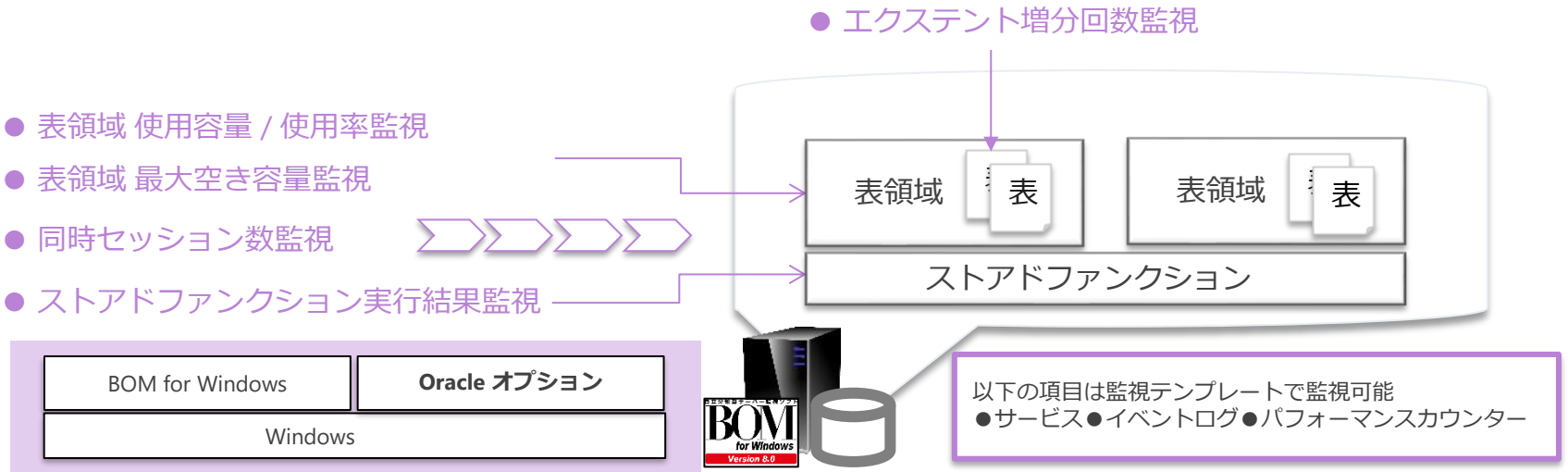
Perlのスクリプトを配布(初回のみ)
(Windows側からSFTPで送信)
※SFTP(SSH File Transfer Protocol)
SSHで安全にファイルを転送するプロトコル

動作環境	Red Hat Enterprise Linux	Ver.7.1以降 / Ver.8.x以降*1 / Ver.9.x以降*1
	Ubuntu	18.04 (LTS) / 20.04 (LTS) / 22.04 (LTS)

*1：マイナーアップデートの最新はセイ・テクノロジーズホームページの動作環境と要件をご確認ください。

構成例 - Oracleオプション

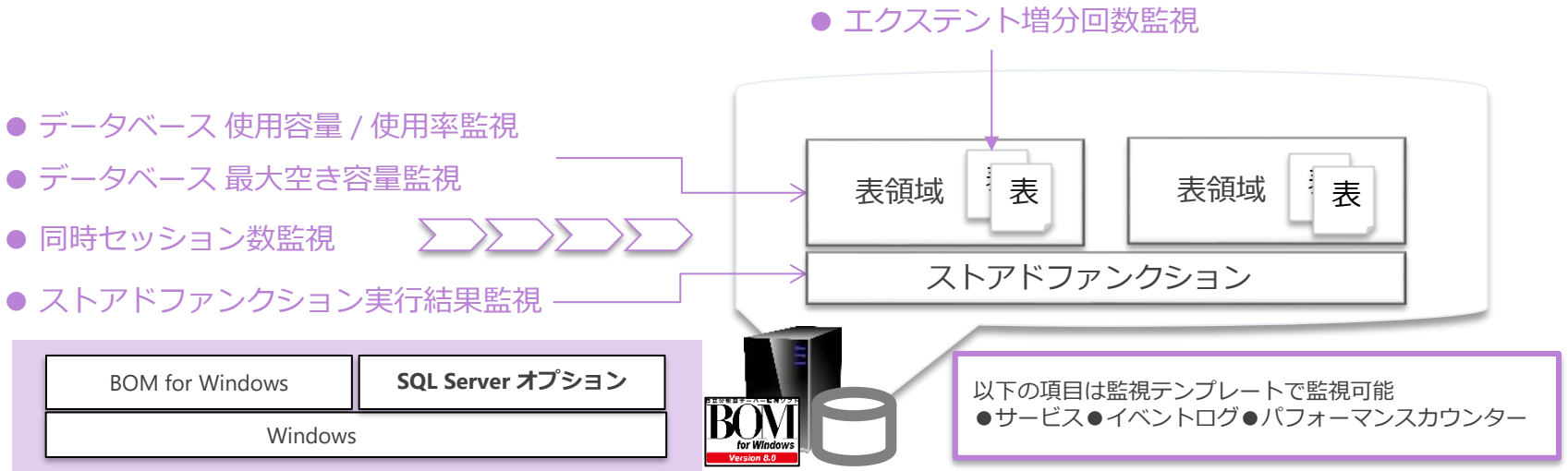
Oracleデータベースサービスに接続してOracle表領域などを監視
Oracleを使用するアプリケーション目線で、Oracleデータベースの監視が可能



動作環境	Oracle Database 21c	Windows x64
	Oracle Database 19c	Windows x64

構成例 - SQL Serverオプション

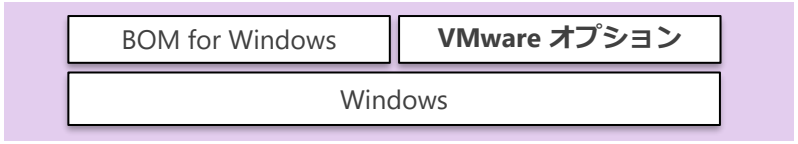
ODBCドライバー経由でSQL Server サービスに接続してデータベースなどを監視
SQL Serverを使用するアプリケーション目線で、SQL Serverの監視が可能



動作環境	SQL Server 2022 各エディション	SPなし
	SQL Server 2019 各エディション	SPなし
	SQL Server 2017 各エディション	SPなし
	SQL Server 2016 各エディション	Service Pack 3
	SQL Server 2014 各エディション	Service Pack 3

構成例 - VMwareオプション

ESXホスト(一部監視項目はvCenter)に接続して、ホストとゲストを監視
監視結果と連動して、ホストやゲストのステータスを制御可能(パワーオン/パワーオフなど)



ESXホストに対してユーザー認証

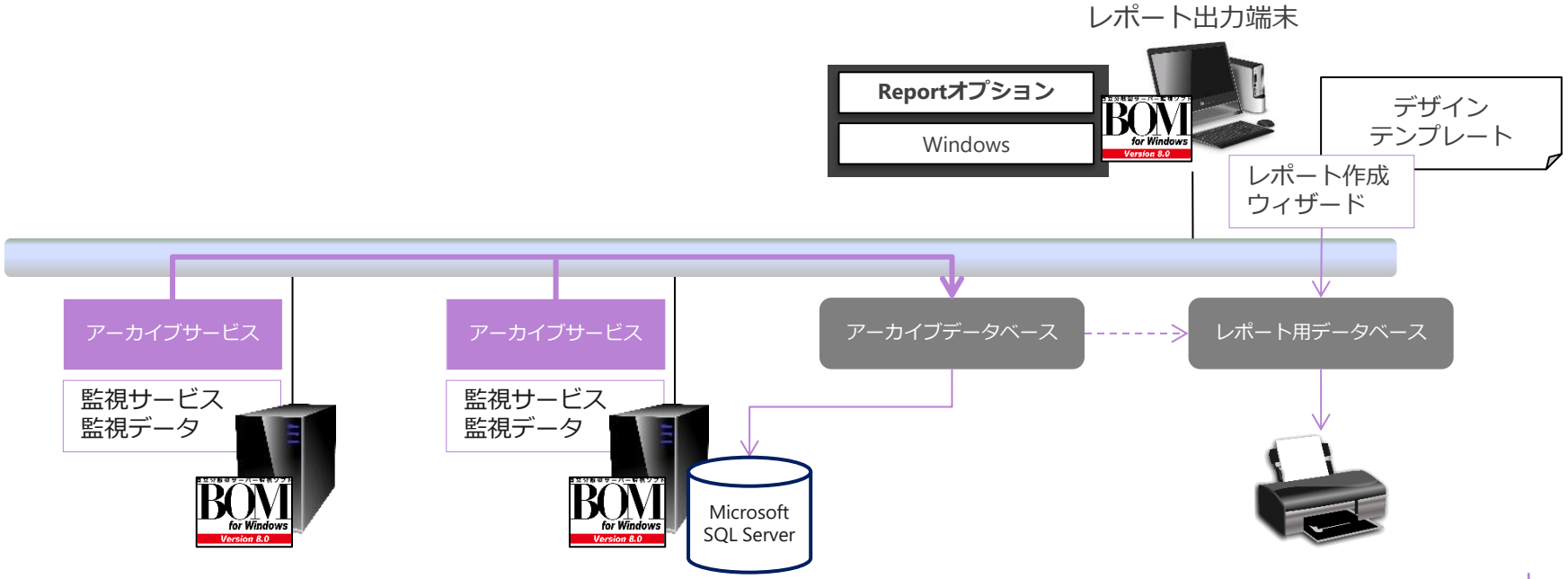
WindowsマシンにBOM for Windowsを
導入後、VMwareオプションを追加導入

ホストだけでなく、ゲストのリソースも監視可能
(ゲストの情報はVMware Tools経由で取得)

動作環境	VMware ESXi	6.7 / 7.0 / 8.0
	VMware vSphere	6.7 / 7.0 / 8.0

構成例 - Reportオプション

BOMアーカイブデータベースに蓄積した監視ログを集計・分析し、レポート出力可能
レポートはデザインテンプレートの中から選択して出力可能
レポートはExcel形式でも出力できるため、レポートの過不足を修正の上、提出可能



05.
活用例・導入事例

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

障害事例別利用シーン：Windows

よくある障害事例	考え得る原因(チェックポイント)	BOMによる検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い 時々システムに接続できない	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンター監視 プロセス監視
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ネットワークインターフェイス監視 PING監視
ファイルサーバーへのアクセスが遅い	ディスク容量不足	フォルダー・ファイル監視
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	PING監視
業務システムが突然アクセスを受け付けなくなった	業務システムのサービス停止	サービス監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ポート監視、 PING監視
	サービスに障害が発生	イベントログ監視
バッチ処理(バックアップ、業務他)の異常終了や処理の停止	バックアップサーバーの停止	PING監視/サービス監視
	バックアップ先の容量オーバー	フォルダー・ファイル監視(ディスク監視)
	媒体不良	イベントログ監視
	リソース不足	パフォーマンスカウンター監視

障害事例別利用シーン：Linux

よくある障害事例	考え得る原因(チェックポイント)	BOMによる検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い 時々システムに接続できない	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	メモリ監視* ディスクアクセス監視* プロセス監視*
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ネットワークインターフェイス監視* PING監視
ファイルサーバーへのアクセスが遅い	ディスク容量不足	ディレクトリ・ファイル監視* ディスク容量監視*
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	ディスクアクセス監視*
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ネットワークインターフェイス監視* PING監視
業務システムが突然アクセスを受け付けなくなった	業務システムのプロセス停止	プロセス監視*
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ネットワークインターフェイス監視* PING監視、サービスポート監視*
	サービスに障害が発生	テキストログ監視*
バッチ処理(バックアップ、業務他)の異常終了や処理の停止	バックアップサーバーの停止	プロセス監視*、PING監視
	バックアップ先の容量オーバー	ディレクトリ・ファイル監視* ディスク容量監視*
	媒体不良	テキストログ監視*
	リソース不足	プロセッサ監視*、メモリ監視*

※ ご利用にはLinuxオプションが必要です。

障害事例別利用シーン：Oracle

よくある障害事例	考え得る原因(チェックポイント)	BOMによる検出・対応機能
データの追加ができない	表領域の容量不足	表領域の使用量・使用率監視＊
	テーブルなどのエクステント回数が上限に達している	エクステント増分回数監視＊
DBサーバーのアクセスが遅い	接続セッション数の増加	同時セッション数監視＊
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンタ監視
	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンタ監視 プロセス監視
DBサーバーに接続できない	接続セッション数が上限に達している	同時セッション数監視＊
	プロセスが起動していない	プロセス監視
	サービスが起動していない	サービス監視
DBサーバーの動作が不安定	エラーログのチェック漏れ	テキストログ監視
オブジェクトが作成できない	表領域の最大空き容量の不足	表領域の最大空き容量監視＊
DBサーバーが正常稼働していない状態に気が付かない	原因不明の障害	監視結果の“失敗”によるDB接続可否の検知＊

※ ご利用にはOracleオプションが必要です。

障害事例別利用シーン：SQL Server

よくある障害事例	考え得る原因(チェックポイント)	BOMによる検出・対応機能
データの追加ができない	データーベースの容量不足	データーベースの使用量・使用率監視＊
	テーブルなどのエクステント回数が上限に達している	エクステント増分回数監視＊
DBサーバーのアクセスが遅い	接続セッション数の増加	同時セッション数監視＊
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンタ監視
	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンタ監視 プロセス監視
DBサーバーに接続できない	接続セッション数が上限に達している	同時セッション数監視＊
	プロセスが起動していない	プロセス監視
	サービスが起動していない	サービス監視
DBサーバーの動作が不安定	エラーログのチェック漏れ	テキストログ監視
オブジェクトが作成できない	データーベースの最大空き容量の不足	データーベースの最大空き容量監視＊
DBサーバーが正常稼働していない状態に気が付かない	原因不明の障害	監視結果の“失敗”によるDB接続可否の検知＊

※ ご利用にはSQL Serverオプションが必要です。

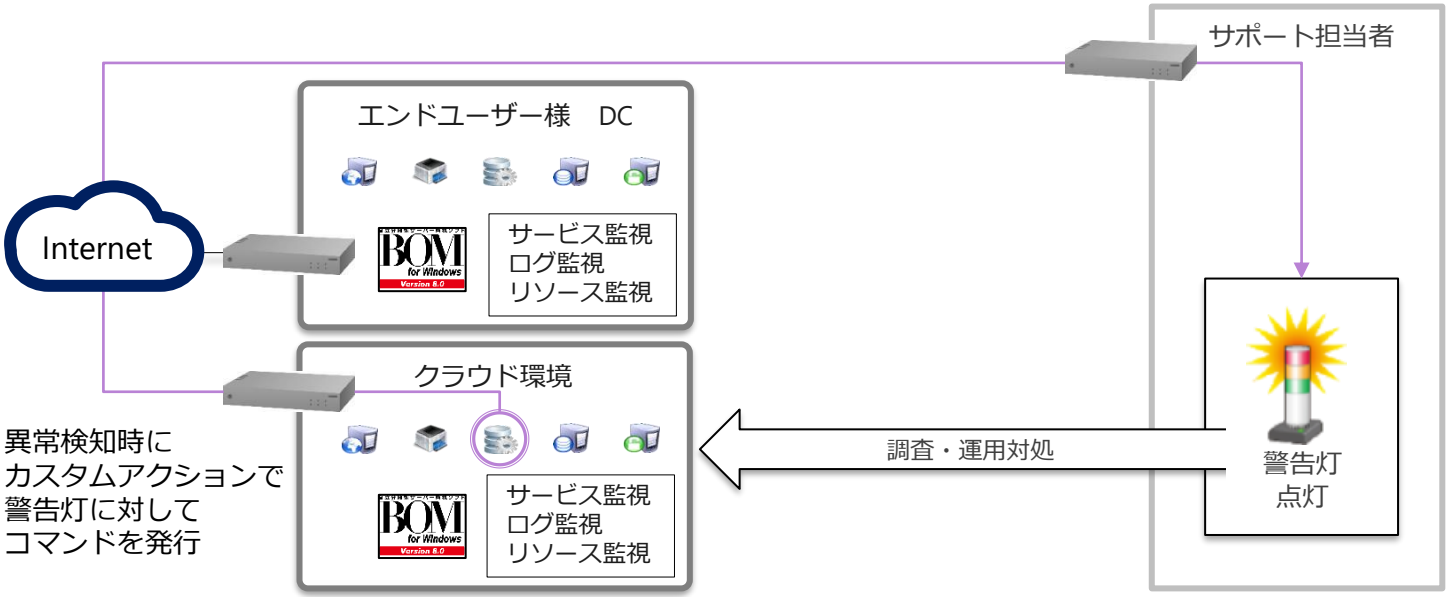
障害事例別利用シーン：VMware

よくある障害事例	考え得る原因(チェックポイント)	BOMによる検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い	メモリリソース不足	パフォーマンスカウンター監視＊
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	
	仮想マシンの過度の起動	仮想マシン数監視＊
全体的なディスクアクセスのパフォーマンスが悪い	ディスク容量不足	ストレージ空き容量監視＊
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視＊
	ストレージの物理的故障	ハードウェアステータス監視＊
特定のゲストOSの動きがおかしい	ゲストOSのダウン	ステータス監視＊、PING監視
	サービスに障害が発生	イベント監視＊、タスク監視＊
ゲストOSの数が増えすぎて負荷増大	ゲストOSを簡単に増やせるため増加	仮想マシン数監視＊

※ ご利用にはVMwareオプションが必要です。

BOMの活用例 - 警告灯連携

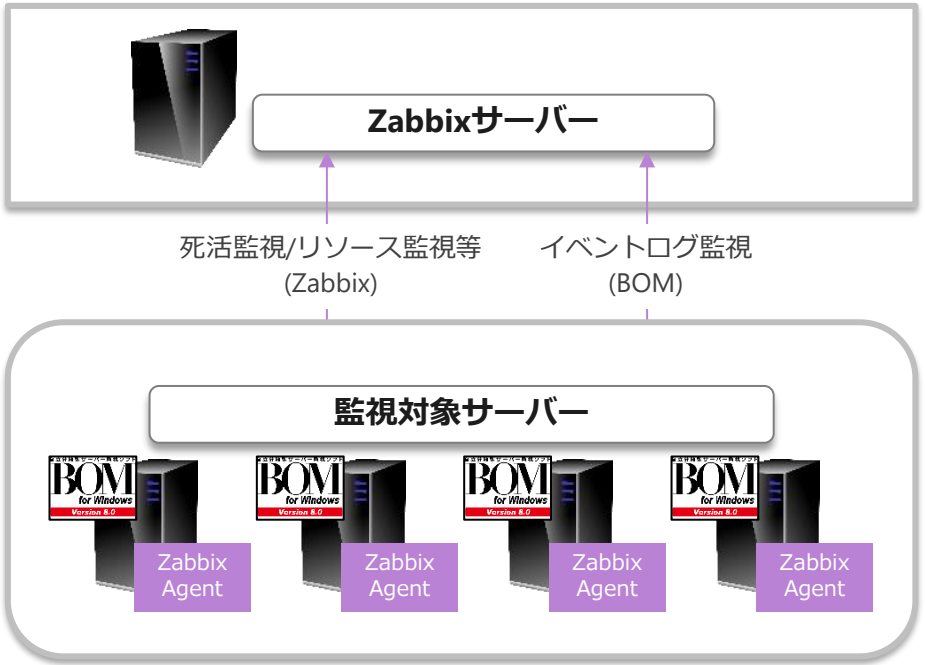
BOMによる異常検知時に、各種警告灯の点滅が可能となり、障害を可視化。

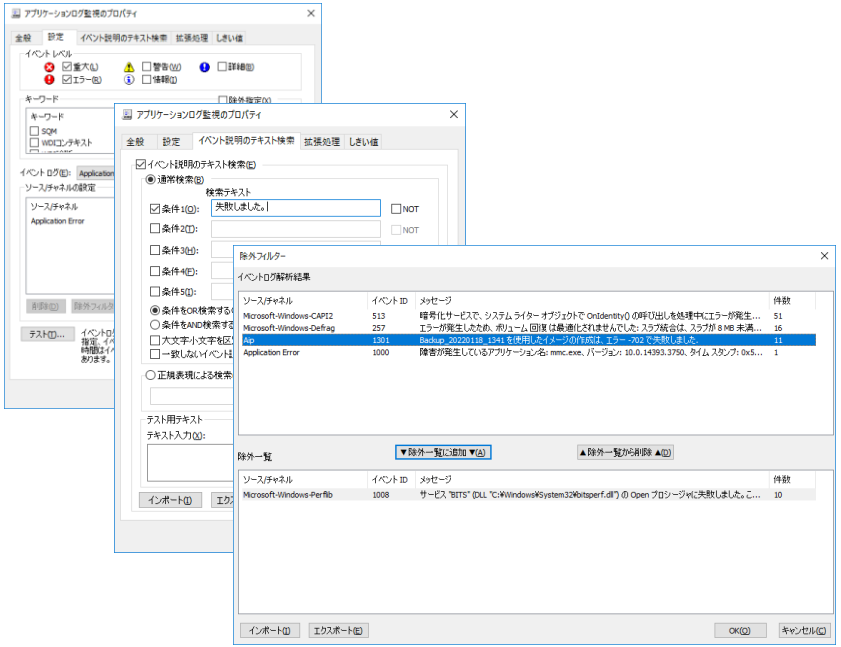


株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 ※FAQサイト内※
株式会社アイエスエイ社の警子ちゃんとの連携方法 ※FAQサイト内※

BOMの活用例-Zabbix連携

監視対象と除外対象を正規表現やトリガー条件式で表現しなければならないイベントログ監視をBOMで実行し、Zabbixに連携可能。



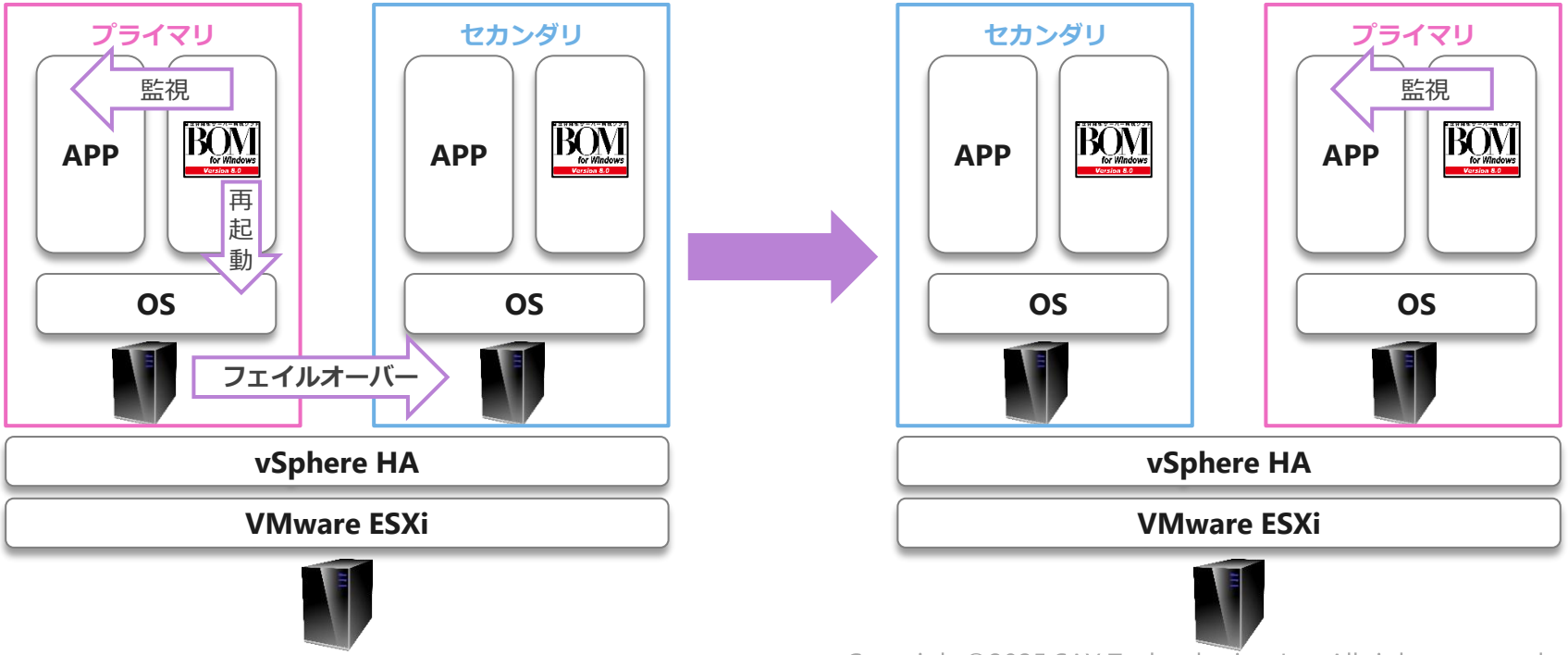


対象指定やログ内のテキスト指定、除外指定もGUIで完結

ＢＯＭの活用例 - アプリケーション正常稼働

重要性の高いシステムはクラスター構成で冗長化されているが、アプリケーションの異常が検知できなくとも、正常確認が確認できなければリカバリー対応が必要。

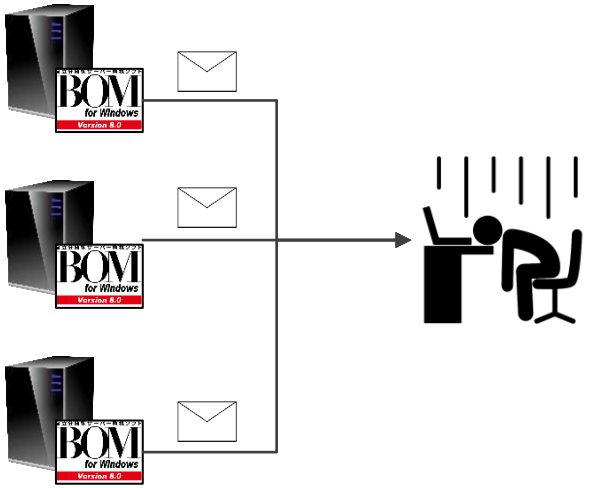
構成例：vSphere HAの場合



アラートフィルター活用例：朝監視リスト

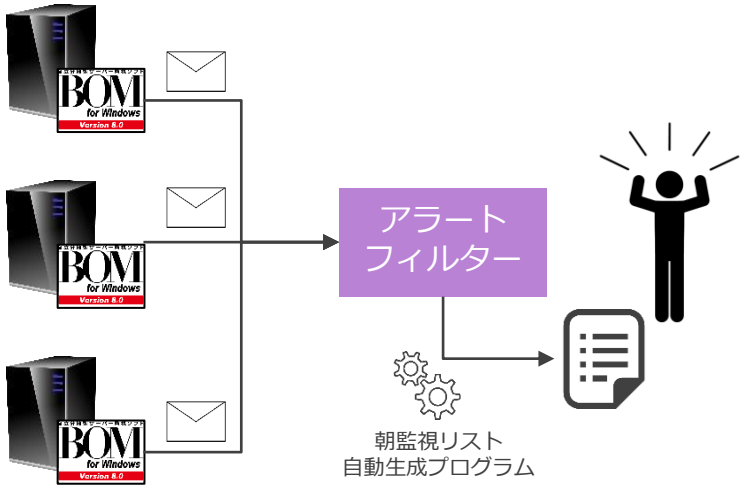
メール送信を利用した朝のサーバー稼働チェックを1つのリストに集約。

導入前



監視対象のサーバー台数分メールが届くため
見落としリスクやチェック工数が発生。

導入後



監視対象サーバーの稼働状況をリスト化。
リストを確認するだけで対象サーバーのチェックが完了。

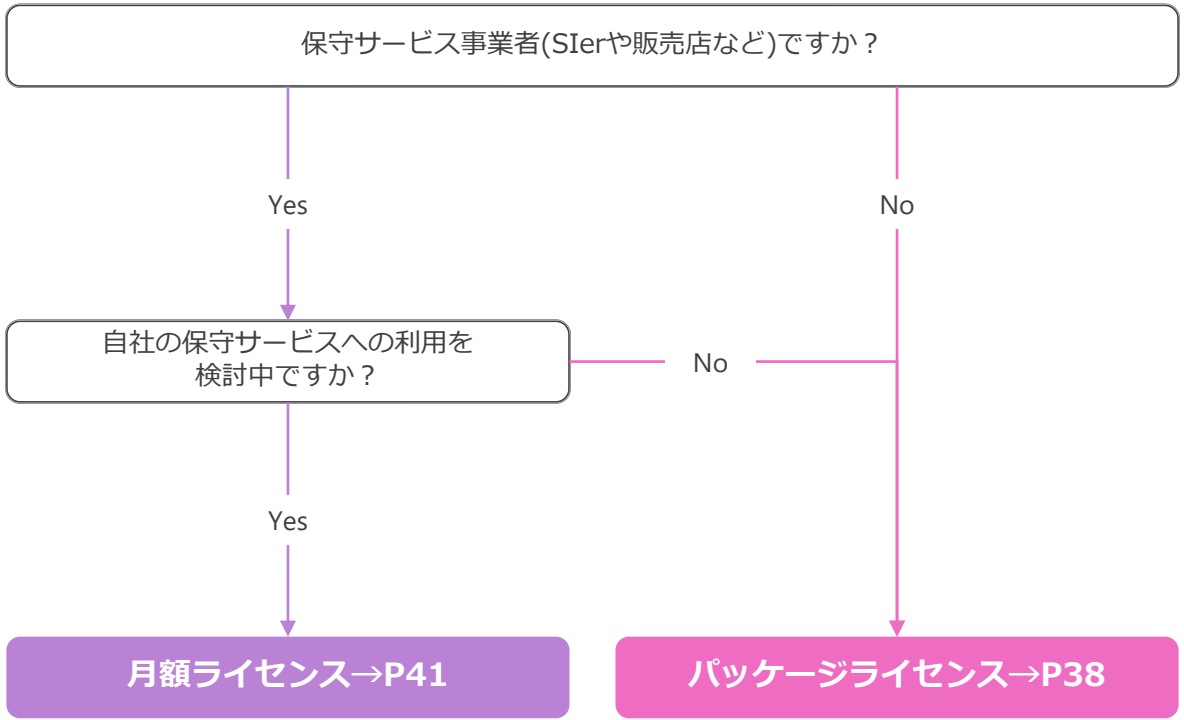
※ 朝監視リストをご利用いただくには別途設定が必要です。詳しくは営業担当、またはお問合わせフォームからご相談ください。

06.
導入について

自立分散型サーバー監視ソフト
BOM for Windows
Version 8.0

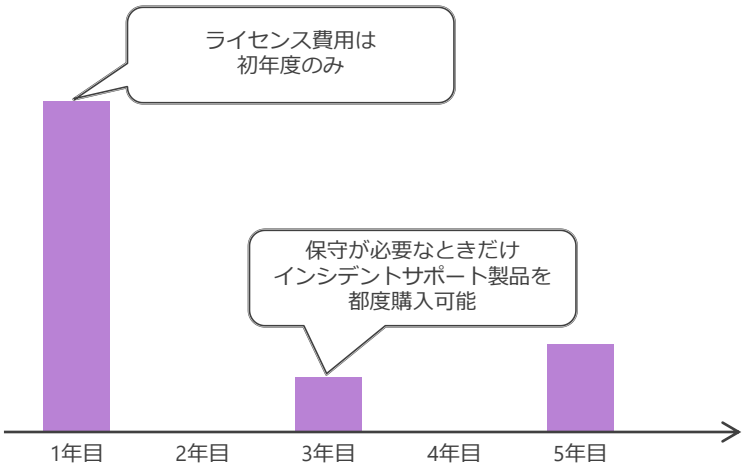
2つのライセンス体系

BOM for Windowsは、立場や目的にあわせて2つのライセンス体系をご用意。



パッケージライセンス：ライセンスを『所有』

保守サービス事業者がシステム運用サービスを立ち上げやすい「月額ライセンス」と買い切りの「パッケージライセンス」をご用意



ライセンスは買い切り

買い切りのため、永続的に利用可能。
SRを含む機能拡張モジュールや修正モジュールは無償で適用可能。

年間保守不要

インシデントサポート制のため、2年目以降の維持コストを
最小限に抑えることが可能。

バージョンアップ費用も低コスト

バージョンアップ費用が発生するのは、メジャーバージョンアップのみ。
専用のバージョンアップライセンスを購入するだけ。

パッケージライセンス：製品価格

型番	JANコード	品名 及び 摘要	標準価格(税抜)
基本パッケージ			
B80-SV-1P	4582102404000	BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ (1ライセンス、5インシデント付)	¥148,000
追加ライセンス			
B80-SV-1L	4582102404017	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	¥130,000
B80-SV-10L	4582102404024	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加10ライセンス	¥900,000
B80-SV-50L	4582102404031	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加50ライセンス	¥3,750,000
仮想用ゲストOS追加ライセンス			
B80-SV-1VL	4582102404116	BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
BLI-80-1VL	4582102404123	BOM Linux オプション Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
B80-SV-50VL	4582102404130	BOM Ver.8.0 ゲストOS用追加50ライセンス(Windows/Linux)	¥1,500,000
オプション			
BOR-80-1L	4582102404048	BOM Oracle オプション Ver.8.0	¥118,000
BSQ-80-1L	4582102404109	BOM SQL Server オプション Ver.8.0	¥118,000
BLI-80-1L	4582102404062	BOM Linux オプション Ver.8.0	¥118,000
BVM-80-1L	4582102404093	BOM VMware オプション Ver.8.0	¥118,000
BRP-80-1L	4582102404086	BOM Report オプション Ver.8.0	¥98,000
BCL-80-1L	4582102404222	BOM ゲストCL オプション Ver.8.0	¥118,000
バージョンアップ			
B80-SV-UP	4582102404147	旧Ver.パッケージからVer.8.0へのバージョンアップ(基本パッケージ)	¥30,000
B80-SV-LUP	4582102404154	旧ライセンスからVer.8.0へのバージョンアップ(1ライセンス)	¥20,000
インシデントサポート			
BOM-SP-5I	4582102390655	BOM 5インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥100,000
BOM-SP-10I	4582102390662	BOM 10インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥180,000
BOM-SP-20I	4582102390679	BOM 20インシデントサポート(1年間有効)	¥300,000
レポート自動出力ツール			
J16-SV-1P	4582102403607	Job Director R16 基本パッケージ	¥148,000

パッケージライセンス：メーカーサポート

年間保守契約不要の「インシデントサポート制」を採用
修正モジュールや機能拡張モジュールは無償提供

ユーザー登録

Step.1

製品購入後、2周間以内にユーザー登録を実施してください。ユーザーIDを発行します。

ユーザー登録のご案内・登録フォーム

お問い合わせ

Step.2

ユーザーIDと有効なインシデントIDを記載の上、サポート窓口までご連絡ください。

テクニカルサポートへのお問い合わせ

サポート対応

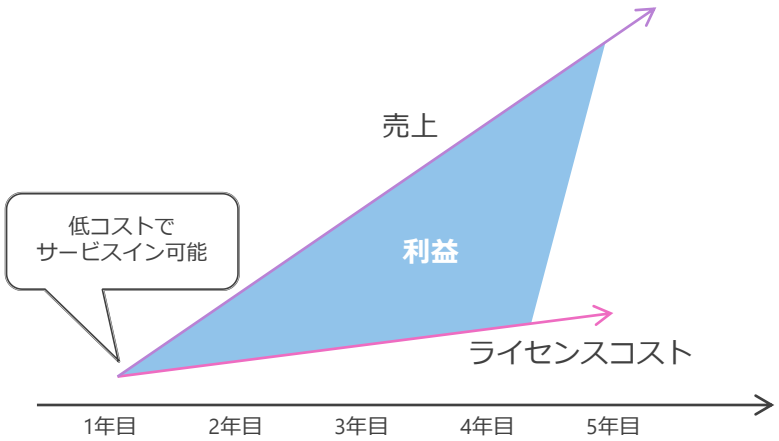
Step.3

セイ・テクノロジーズ サポート担当者よりご回答いたします。お問い合わせクローズ後にインシデントを消費します。

セイ・テクノロジーズ製品の脆弱性情報の一覧はこちらからご確認できます。

月額ライセンス：ライセンスを『利用』

保守サービス事業者がシステム運用サービスを立ち上げやすい「月額ライセンス」と買い切りの「パッケージライセンス」をご用意



ライセンスコストは使った分だけ

ライセンスコストを毎月のサービス売上から支払えるため
安定的にサービスを提供可能。

エンドユーザーへ導入しやすい

エンドユーザーへの導入時に初期費用が発生しないため
提案・導入しやすいライセンス体系です。

発生するのはライセンスコストだけ

ライセンスコストにテクニカルサポート費用や
バージョンアップライセンス費用も含まれています。

※ 月額ライセンスは、エンドユーザーにシステム運用サービスを提供するSIerなどの保守サービス事業者のみご利用できます。

BOM選定までのステップ例

30日間無料で利用可能

販売店様 / セイ・テクノロジーズに
お問い合わせください

01
社内検討

02
評価検証

03
ハンズオントレーニング
Eラーニング

04
製品購入

資料をWebよりダウンロード

半日で学べる「入門編」を定期開催
eラーニングは常時申し込み可能

セイ・テクノロジーズ株式会社

https://www.say-tech.co.jp

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階
TEL：03-5803-2461　FAX：03-5803-2463
e-mail：sales@say-tech.co.jp